

都市再生整備計画(第1回変更)

つばたえきしゅうへん
津幡駅周辺地区

いしかわ つばたまち
石川県 津幡町

令和4年10月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	<input type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業	<input checked="" type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input type="checkbox"/>

目標及び計画期間

都道府県名	石川県	市町村名	津幡町	地区名	津幡駅周辺地区	面積	1.2	ha
計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 8 年度	交付期間	令和 4 年度 ~ 令和 8 年度					

目標

【大目標】住む人にやさしい 交流・交通・産業のまちづくり

- 目標1: 新たなまちづくりの玄関口となる交通結節点の形成
- 目標2: 安心安全な駅周辺環境の創出
- 目標3: 公共交通との連携による地域公共交通の強化

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

津幡町は、県都金沢へ通じる幹線交通である鉄道などの公共交通機関を軸に、路線バス、町営バスにより構成される公共交通網が広がっており、町内小中学校への登下校や高齢者等の通院・買物に利用されている。今後の人口減少や少子高齢化の進展などの社会情勢の変化に対応した移動手段の確保や、快適な居住と活発な市民活動を支える都市の重要なインフラとして、公共交通の役割はますます重要になると考えられる。

本計画の対象区域である津幡駅周辺地区は線路により東西が分断され、かねてから本町の最大の懸案事項となっている。津幡駅の乗降口がある西側平坦地は、平成に入ってから金沢市のベッドタウンとして住宅や大型ショッピングセンター等が立地し、津幡駅は、一日約4,500人の乗降客となっている一方、乗降口のない駅東側は、旧国道8号線沿いに国立の石川工業高等専門学校が設置された丘陵地で、ほぼ未開発地域となっており、またこの地域より東は人口減少など過疎化が進んでいる。このことから、津幡駅東部地区において産官学が連携し、若者の就労機会の創出や企業の技術水準の向上、民間活力による定住基盤整備および駅東口駅前整備を含めた拠点となるまちづくりを図るため、平成29年度に津幡町東部地区まちづくり構想を策定している。これを受けて、平成30年度策定の「地域公共交通網形成計画」や令和2年度策定の「津幡町都市計画マスタープラン」において津幡駅東口を中心とする津幡駅周辺地区の整備は今後の津幡町東部地区における新しいまちづくり及び本町の発展に欠かせない重要な事業として位置づけている。また、令和元年度より、津幡駅を最寄り駅とする金沢星稜大学のスポーツキャンパスの整備計画が進行しており、津幡駅周辺の公共交通に対する利便性向上が一層求められている。

課題

津幡駅周辺地区の東西一体化

- 線路による東西分断を解消し、津幡町東部地区における新たなまちづくり(住環境整備、企業立地、観光交流)を見据えた鉄道駅の拠点再生・機能向上を図る必要がある。

安心安全な駅周辺環境の創出

- 線路横断危険箇所を解消し、駅周辺における自転車及び歩行者の安全性を確保する必要がある。
- 通過交通の流入による西口ロータリー内の混雑を解消し、駅利用の安全性を確保する必要がある。

多様な移動手段に対応できる乗継拠点の形成

- バス、タクシー、自家用車、自転車等、交通機関相互の乗換利便性の向上により公共交通の円滑化、利用促進を図る必要がある。

将来ビジョン(中長期)

- 「第5次津幡町総合計画」では、「住んでみたい、ずっと住みたい ふるさと つばた」をまちづくりの将来像としており、これは、本町が有するすべての魅力を最大限に引き出しながら、町民が豊かな自然環境の中で育ち、学び、働き、誰もが健康で、お互いに敬い、家庭・地域の絆による支えあいを大切にするとともに、様々な時代の要請に即応することにより、本町に関わるすべての人が“住んでみたい”“ずっと住みたい”と心から思えるまちづくりを目指すこととしている。
- 「津幡町都市計画マスタープラン」では、総合計画における将来像実現のための目標に①生活利便性が高く、職住バランスのある住みよいまちづくり、②町民が安全・安心に暮らせる災害に強いまちづくり、③多様な資源を活かした交流促進と道路・公共交通の充実したまちづくり、④都市環境と森林・里山の自然環境が共生したまちづくり、⑤全町民で取り組む参画と協働や、広域連携によるまちづくり、の5つを掲げている。
- 津幡駅周辺地区を含むエリアについては、賑わい・交流等機能開発拠点として位置付け、「IR 津幡駅周辺から東の一帯では、IR 津幡駅東口の整備をはじめ、賑わいや交流に寄与する環境の整備や安全・安心に暮らせる住環境の整備、企業の誘致を推進することにより、本町の中心地として、その活性化に向けたまちづくりを推進する」としている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値		
				基準年度	目標年度		
鉄道利用者数の増加	人/日	津幡駅の日平均利用者数(乗降者数)	津幡駅東口を整備し、通勤・通学の町内外への移動利便性を確保し鉄道の年間利用者数の増加を目指す。	2,514人/日	R3	2,600人/日 (約125人/日の増加)	R8
津幡駅西口ロータリーの渋滞緩和	台/日	津幡駅西口ロータリー利用台数	津幡駅東口におけるロータリー整備により西口の渋滞緩和及び線路以東地域における駅利用者の利便性向上を図る。	1,596台/日	R3	1,117台/日	R8
線路横断危険箇所の通行者数抑制	人/日	駅周辺における線路横断危険箇所の自転車及び歩行者の交通量	駅周辺における自転車及び歩行者の線路横断危険箇所の解消を図る。	1,523人/日	R3	520人/日	R8
自転車による駅利用者数の増加	台/日	津幡駅全体の日平均駐輪台数	乗継拠点形成のひとつとして駐輪場を整備し、公共交通の利用促進を目指す。	715台/日	R3	800台/日	R8

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【津幡駅周辺の東西一体化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅東口整備により、津幡町東部地区からの鉄道へのアクセス時間の短縮を図る。 ・町の玄関口に相応しい快適で魅力的な空間づくりを推進する。 ・利用者にわかりやすい案内・情報提供を行う。 	<p>〈基幹事業〉 道路：東西自由通路(跨線橋) 高質空間形成施設：東西自由通路内EV、東トイレ整備、既存西トイレバリアフリー整備、駅広場内施設(シェルター、照明施設)</p> <p>〈提案事業〉 地域創造支援事業：地域交流促進事業</p> <p>〈関連事業〉 道整備交付金事業(駅前広場道路(ロータリー)・駐車場・駐輪場・現道拡幅(県道215号(森本津幡線)右折車線設置改良)等)</p>
<p>【駅利用者の安全性の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由通路の整備により東西の往来に安全な自転車及び歩行者空間を確保する。 ・これまで西口に集中していた機能を東口広場整備により分散し、混雑緩和を図る。 ・誰でも安全・安心して利用できるよう駅周辺のバリアフリー化を推進する。 	<p>〈基幹事業〉 道路：東西自由通路(跨線橋) 高質空間形成施設：東西自由通路内EV、東トイレ整備、既存西トイレバリアフリー整備</p> <p>〈関連事業〉 道整備交付金事業(駅前広場道路(ロータリー)・駐車場・駐輪場・現道拡幅(県道215号(森本津幡線)右折車線設置改良)等)</p>
<p>【多様な移動手段に対応できる乗継拠点の形成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場・駐輪場の整備により、パーク&ライド、サイクル&ライドの強化を図る。 	<p>〈基幹事業〉 高質空間形成施設：駅広場内施設(シェルター、照明等) 地域生活基盤施設：東口駐輪場上屋整備</p> <p>〈関連事業〉 道整備交付金事業(駅前広場道路(ロータリー)・駐車場・駐輪場・現道拡幅(県道215号(森本津幡線)右折車線設置改良)等)</p>
<p>その他</p>	
<p>【関連計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津幡駅周辺まちづくり事業 H28.4～H29.3(津幡駅周辺まちづくり基本構想の策定、津幡町東部地区まちづくり協議会の開催、利用者意向調査の実施) ・津幡駅整備基本計画 H30.3 ・津幡町地域公共交通網形成計画 H31.2 ・金沢星稜大学スポーツキャンパス整備計画(R1)/津幡町南中条・北中条地内 	

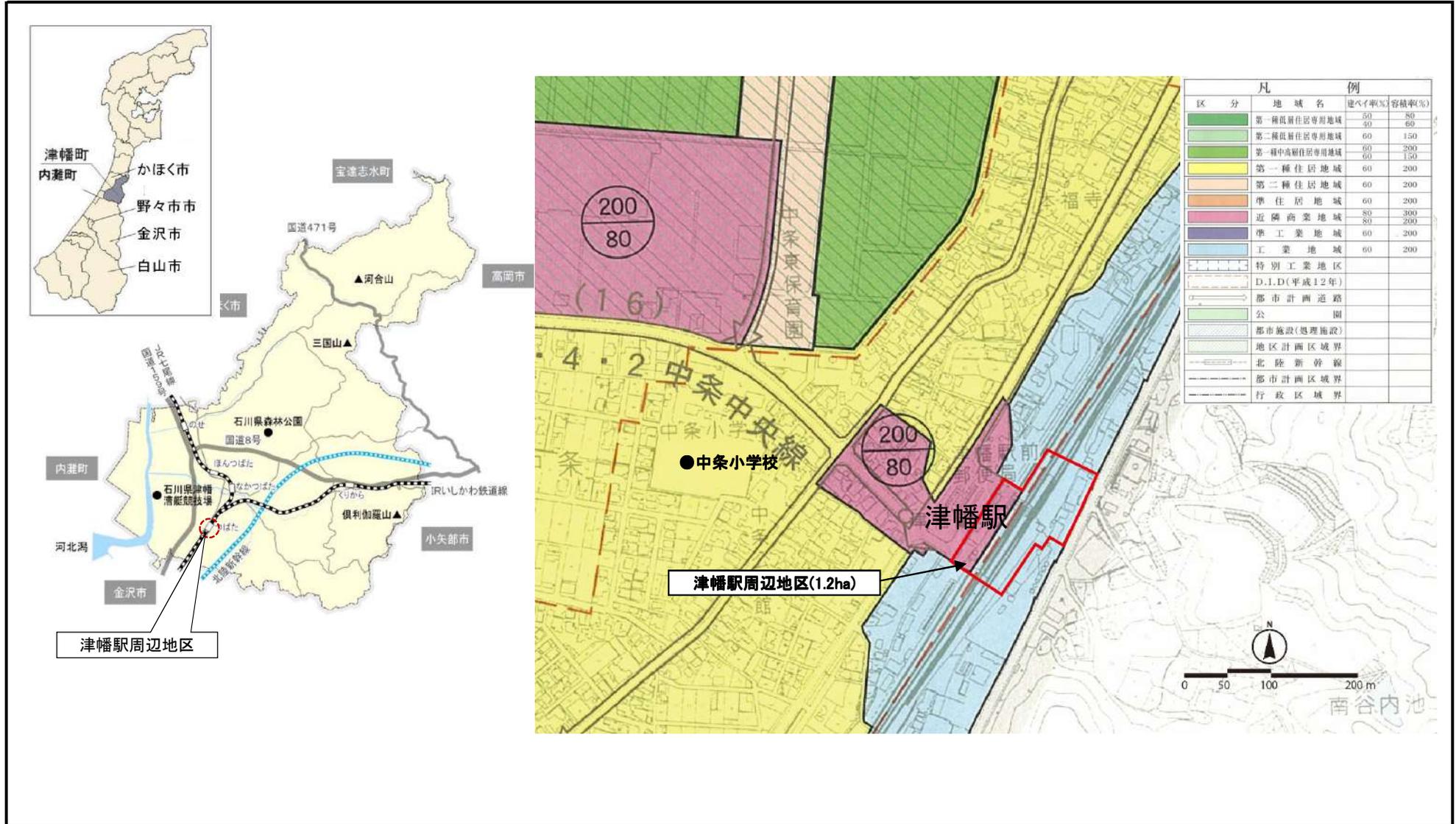
津幡駅周辺地区(石川県津幡町)

面積

1.2 ha

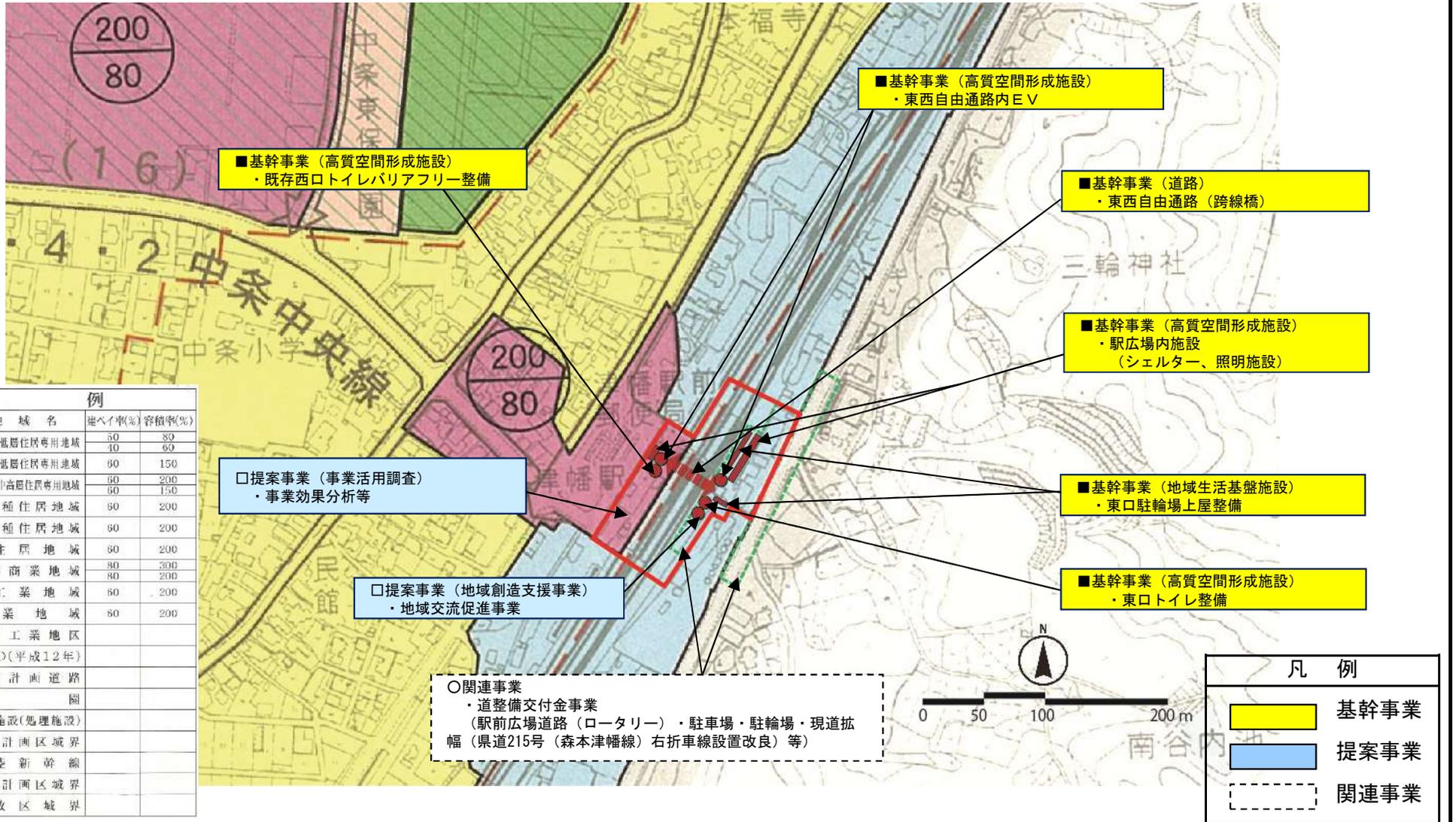
区域

津幡町南中条、北中条の一部



津幡駅周辺地区(石川県津幡町) 整備方針概要図(都市再生整備計画事業)

目標	【大目標】住む人にやさしい 交流・交通・産業のまちづくり	代表的な指標	鉄道利用者数の増加 (人/日)	2,514 (R3年度)	→	2,600 (R8年度)
	目標1: 新たなまちづくりの玄関口となる交通結節点の形成		津幡駅西口ロータリーの渋滞緩和 (台/日)	1,596 (R3年度)	→	1,117 (R8年度)
	目標2: 安心安全な駅周辺環境の創出		線路横断危険箇所の通行者数抑制 (人/日)	1,523 (R3年度)	→	520 (R8年度)
	目標3: 公共交通との連携による地域公共交通の強化		津幡駅全体の日平均駐輪台数 (台/日)	715 (R3年度)	→	800 (R8年度)



凡	例	建ぺい率(%)	容積率(%)
第一種低層住居専用地域		50	80
第二種低層住居専用地域		40	60
第一種中高層住居専用地域		60	200
第一種住居地域		60	150
第二種住居地域		60	200
準住居地域		60	200
近隣商業地域		80	300
準工業地域		80	200
工業地域		60	200
特別工業地区			
D.I.D(平成12年)			
都市計画道路			
公園			
都市施設(処理施設)			
地区計画区域界			
北陸新幹線			
都市計画区域界			
行政区域界			

凡例	
	基幹事業
	提案事業
	関連事業

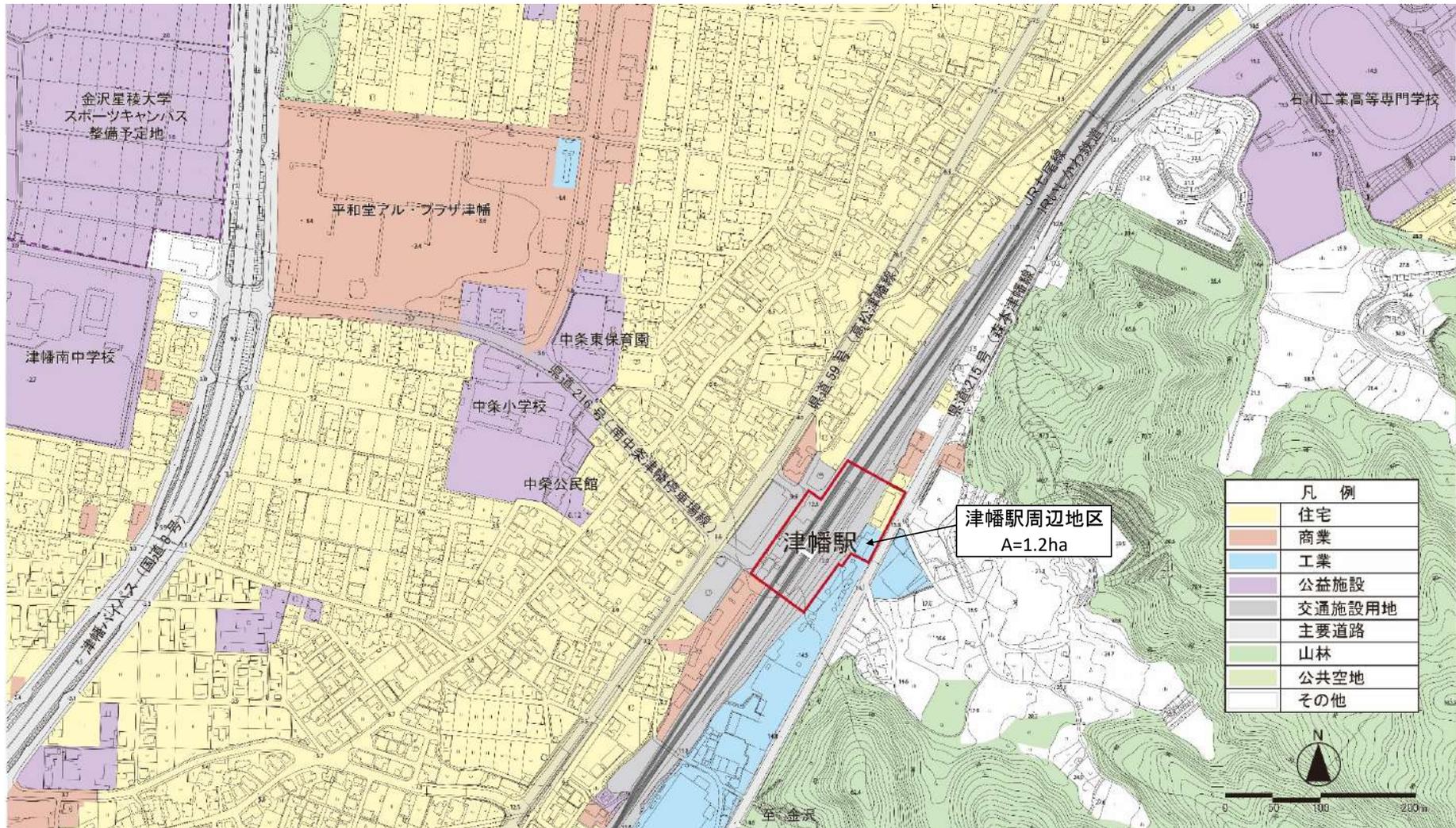
都市再生整備計画の添付書類等

交付対象事業別概要

つばた えき しゅうへん ちく
津幡駅周辺地区

いしかわけん つばたまち
(石川県津幡町)

津幡駅周辺地区(石川県津幡町) 現況図



交付限度額算定表(その1)

各事業の交付要綱に掲げる式による交付限度額の合計(X)	936.0 百万円	規則第16条第1項に基づく交付限度額(Y)	4,138.0 百万円	X ≤ Yゆえ、本計画における交付限度額	936.0 百万円
-----------------------------	-----------	-----------------------	-------------	----------------------	-----------

規則第16条第1項に基づく限度額算定

Au	6,000 m ²
-----------	----------------------

公共施設の上限整備水準

区域面積(m ²)	12,000
当該区域の特性に応じて国土交通大臣が定める割合	○
区域の面積が10ha未満の地区	0.50
最近の国勢調査の結果による人口集中地区内	0.45
その他の地域	0.40

Ci	528,160 円/m ²
-----------	--------------------------

単位面積あたりの標準的な用地費

標準地点数	5
公示価格の平均値(円/m ²)	52,960
単位面積あたりの標準的な補償費	
当該区域内の戸数密度(戸/m ²)	0.003
標準補償費(円/戸)	44,000,000

Cf	23,000 円/m ²
-----------	-------------------------

控除額	0 百万円
------------	-------

まちづくり交付金とは別に国庫補助事業等により整備する施設

施設名(事業名)	面積(m ²)	国庫補助事業費等(百万円)
道整備交付金事業	6,000	
合計	6,000	0

Ap	0 m ²
-----------	------------------

公共施設の現況整備水準

整備水準が明らかになっている類似市街地等からの推定	
推定現況整備水準(小数第2位まで)	
推定公共施設面積(m ²)	0

個別公共施設の積み上げ

	面積(m ²)	割合
道路	-	
公園	-	
広場	-	
緑地	-	
公共施設合計	0	0

Cnを考慮しない場合の交付限度額(Y1)	1653 百万円
-----------------------------	----------

ΣCn	4,970,824,000 円
------------	-----------------

下水道	0 円
区域面積(m ²)	12,000
うち現況の供用済み区域面積(m ²)	
標準整備費(円/m ²)	3,600

○ 地域交流センター等の公益施設(建築物)	4,069,824,000 円
-----------------------	-----------------

上限床面積(m ²)	9,400
標準整備費(円/m ²)	432,960

調整池	0 円
-----	-----

調整池の容積(m ³)	
標準整備費(円/m ³)	140,000

河川	0 円
----	-----

河川整備延長(m)	
標準整備費(円/m)	3,700,000

住宅施設	0 円
------	-----

建設予定戸数(戸)	超高層	
	一般	
	合計	0

標準整備費(円/戸)	超高層	一般
	北海道特別地区	41,310,000
	北海道一般地区	38,190,000
	特別地区	49,120,000
	大都市地区	37,170,000
	多雪寒冷地区	41,510,000
	奄美地区	39,520,000
	沖縄地区	30,280,000
	一般地区	33,700,000

市街地再開発事業による施設建築物	0 円
------------------	-----

施設建築物の延べ面積(m ²)	
標準共同施設整備費(円/m ²)	132,000

電線共同溝等	0 円
--------	-----

電線共同溝等延長(m)	
標準整備費(円/m)	680,000

○ 人工地盤	901,000,000 円
--------	---------------

人工地盤の延べ面積(m ²)	170
標準整備費(円/m ²)	5,300,000

協議して額を定める大規模構造物等	0 円
------------------	-----

大規模構造物等	協議状況	整備費(円)

Cnを考慮した場合の交付限度額(Y2)	4138 百万円
----------------------------	----------

各事業の交付要綱に掲げる式による交付限度額(活用する交付金の欄のみご記載ください。)

<都市構造再編集中支援事業>

交付限度額(X1)	百万円
-----------	-----

<都市再生整備計画事業>

交付限度額(X2)	936.0 百万円
-----------	-----------

<まちなかウォークアブル推進事業>

交付限度額(X3)	百万円
-----------	-----

(参考) 交付限度額算定表(都市再生整備計画事業(通常))

※本シートについて、各自治体が交付限度額を算出する上での参考として添付しているものです。事業毎に状況が異なりますので、各自治体の責任において適切に交付限度額を算出するようお願いいたします。

交付要綱に掲げる式による限度額算定(詳細)

※水色のセルに事業費等必要事項を入力して下さい。(事業費の単位:百万円)

○交付対象事業費(必ず入力)

交付対象事業費	基幹事業合計(A)	2,240.060	A (事業費)	⇒	1)式で求まる額(4/10*(A+B))	936.000	① (国費)
	提案事業合計(B)	99.940	B (事業費)		2)式で求まる額(5/9*A)	1,244.478	② (国費)
	合計(A+B)	2,340.000	(事業費)		上記①、②の小さい方	936.000	③ (国費)
	提案事業割合(B/(A+B))	0.043			国費率(③÷(A+B))	0.400	④ (国費率)

○拡充の有無

以下の拡充がある場合は、該当する欄に○を入力。

・3)式の適用[提案事業枠2割拡充]		(選択)	⇒	3)式で求まる額(5/8*A)	0.000	⑤ (国費)
--------------------	--	------	---	-----------------	-------	--------

○交付限度額、国費率

交付限度額	936.000	⑥ (国費)
国費率	0.400	⑦ (国費率)

交付限度額算定表(その2)(都市再生整備計画事業)

※本シートについて、各自治体が交付限度額を算出する上での参考として添付しているものです。事業毎に状況が異なりますので、各自治体の責任において適切に交付限度額を算出するようお願いいたします。

交付要綱に掲げる式による限度額算定(詳細)

※水色のセルに事業費等必要事項を入力して下さい。(事業費の単位:百万円)

○交付対象事業費

交付対象事業費	基幹事業合計(A)	2,240.060	A (事業費)	⇒ 1)式で求まる額(4/10*(A+B))	936.000	① (国費)
	提案事業合計(B)	99.940	B (事業費)	2)式で求まる額(5/9*A)	1,244.478	② (国費)
	合計(A+B)	2,340.000	(事業費)	上記①、②の小さい方	936.000	③ (国費)
	提案事業割合(B/(A+B))	0.043		国費率(③÷(A+B))	0.400	④ (国費率)

○拡充の有無

以下の2つの拡充のうち、いずれかの拡充がある場合は、該当する欄に○を入力。

・3)式の適用[提案事業枠2割拡充]		(選択)	⇒ 3)式で求まる額(5/8*A)	0.000	⑤ (国費)
・4)式の適用[都市再生緊急整備地域等の国費率45%拡充]		(選択)	3)式の適用後(適用がある場合は3式反映)	936.000	⑥ (国費)
			3)式適用後の国費率(⑥÷(A+B))	0.400	⑦ (国費率)

○4)式の適用がある場合の事業費等

4)式の適用がある場合は、以下に事業費等を入力。

4)式の適用を受ける場合	計画の認定等の年度末までの執行业業費(F)		F (事業費)	⇒ 適用前の国費率※		⑧ (国費率)
	適用対象となる交付対象事業費(A''+B'')	0.000	(事業費)	※計画認定日の属する年度の年度末における1)式から3)式を適用して算出した交付限度額を交付対象事業費の事業費で除した値		
	適用対象となる基幹事業合計(A'')		A'' (事業費)	⇒ 適用対象事業費から求まる限度額	0.000	⑨ (国費)
	適用対象となる提案事業合計(B'')		B'' (事業費)	⇒ 適用後の国費率(⑨÷(A''+B''))	#DIV/0!	⑩ (国費率)
	適用対象事業のうち翌年度以降の執行业業費(H)		H (事業費)	⇒ 4)式適用後の限度額(⑧×F+⑩×H)	#DIV/0!	⑪ (国費)

※都市再生整備計画事業の当初から4)式の適用を受ける場合は、Fの欄を記入せず、A''、B''を記入し、A''=A、B''=B、H=A''+B''=A+Bとなる。

↓

交付限度額	936.000	⑫ (国費)
-------	---------	--------

○交付限度額、国費率

交付対象事業費(A+B)	2,340.00	(事業費)	⇒ 交付要綱に基づく交付限度額(⑫を1万円の位を切り捨て)	936.0	⑬ (国費)
			⇒ 国費率	0.400	⑭ (国費率)

年次計画(都市再生整備計画事業)

様式(2)-⑤-2
(事業費:百万円)

事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業	細項目								
道路		東西自由通路(跨線橋)	津幡町	1,646.63	74.09	485.84	445.30	641.40	
公園									
古都保存・緑地保全等事業									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設		東口駐輪場上屋整備	津幡町	75.80				30.80	45.00
高質空間形成施設		東西自由通路内EV	津幡町	87.90			87.90		
		東ロトイレ整備	津幡町	90.03		3.63		86.40	
		既存西ロトイレバリアフリー整備	津幡町	86.70		8.90	77.80		
		駅広場内施設(シェルター、照明施設)	津幡町	253.00				100.00	153.00
高次都市施設	地域交流センター								
	観光交流センター								
	まちおこしセンター								
	子育て世代活動支援センター								
	複合交通センター								
既存建造物活用事業									
土地区画整理事業									
市街地再開発事業									
住宅街区整備事業									
バリアフリー環境整備促進事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									
計				2,240.06	74.09	498.37	611.00	858.60	198.00
提案事業									
事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業	細項目								
地域創造 支援事業	地域交流促進事業		津幡町	90.03		3.63		86.40	
事業活用 調査	事業効果分析等		津幡町	9.91	0.91	1.00	1.00	3.00	4.00
まちづくり活動 推進事業									
計				99.94	0.91	4.63	1.00	89.40	4.00
合計				2,340.00	75.00	503.00	612.00	948.00	202.00
累計進捗率 (%)					3.2%	24.7%	50.8%	91.3%	100.0%
(参考)関連事業									
事業		事業箇所名	事業主体	全体 事業費	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業	細項目								
道整備交付金事業		道整備交付金事業(駅前広場道路(ロータリー)・駐車場・駐輪場・現道拡幅(県道215号(森本津幡線)右折車線設置改良)等)	津幡町	981.30 (令和3年度:17.46 1.7%)	65.84	403.00	170.00	200.00	125.00
合計				981.30	65.84	403.00	170.00	200.00	125.00
累計進捗率 (%)					8.4%	49.5%	66.8%	87.2%	100.0%

道路

都市計画道路名 又はその他道路名	区間	道路 区分 <small>注1)</small>	事業 主体	事業 手法 <small>注2)</small>	工種	延長 m	幅員		整備後 車線数 車線	歩道 幅員 m	まち交 事業費 百万円	まち交における 事業期間 (年度)	事業内容 <small>注3)</small>	都市計画 決定 年月	備 考 <small>注4)</small>
							整備前 m	整備 m							
<道路>				-											
町道津幡駅前線	北中条ラ40-1～北中条ラ55-6	地	町	-		43m	0m	4.0m		4.0m	1,646.6	R4-R7	東西自由通路の整備		詳細設計未了
	～			-											
	～			-											
	～			-											
	～			-											

(参考)

<関連事業>															

* 本調書にはア)交付対象事業「道路」(街路、地方道、国道、その他)、イ)関連事業道路のすべてを記載すること。

注1) <道路>については、街、地、国、他の別を記載。

<関連事業>については、国、主、一、市の別を記載。

ただし、街:街路、地:地方道(市町村道)、国:国道、主:主要地方道、一:一般都道府県道、市:市町村道、他:いずれにも該当しないもの

注2) <関連事業>について通、交、地特、単独、促の別等を記載。補足説明すべき点は備考欄に説明を記載。

注3) 施設の構造、工法、及び地方道事業においては細工種、街路事業においては沿道区画整理型街路事業等の事業名

注4) 備考には現在の道路状況を把握するために必要なその他の事項で、交通量(人/日)、混雑度等を記載

(例)・道路改築:交通量(人/日)、混雑度等

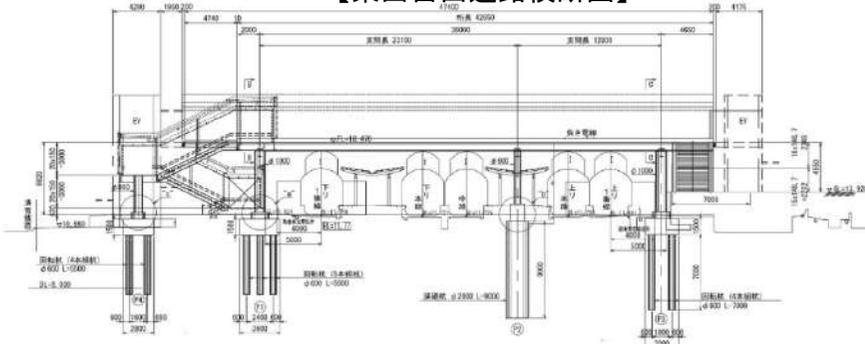
・自転車駐車場:都市計画決定の有無、面積、利用台数等

* 不足する場合は適宜行を追加すること

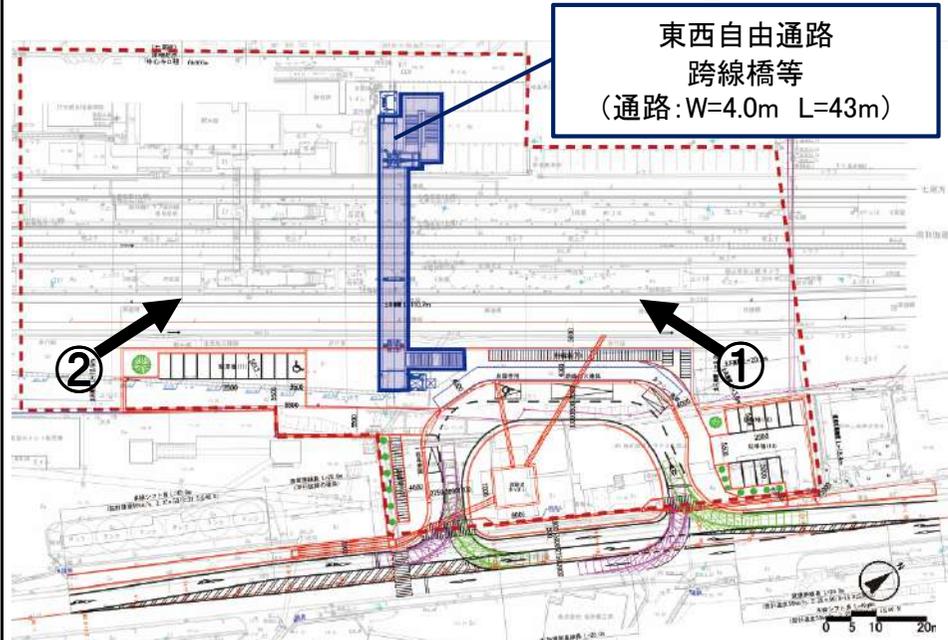
道路

東西自由通路

【東西自由通路横断面図】



東西自由通路
跨線橋等
(通路: W=4.0m L=43m)



都市再生整備計画の区域

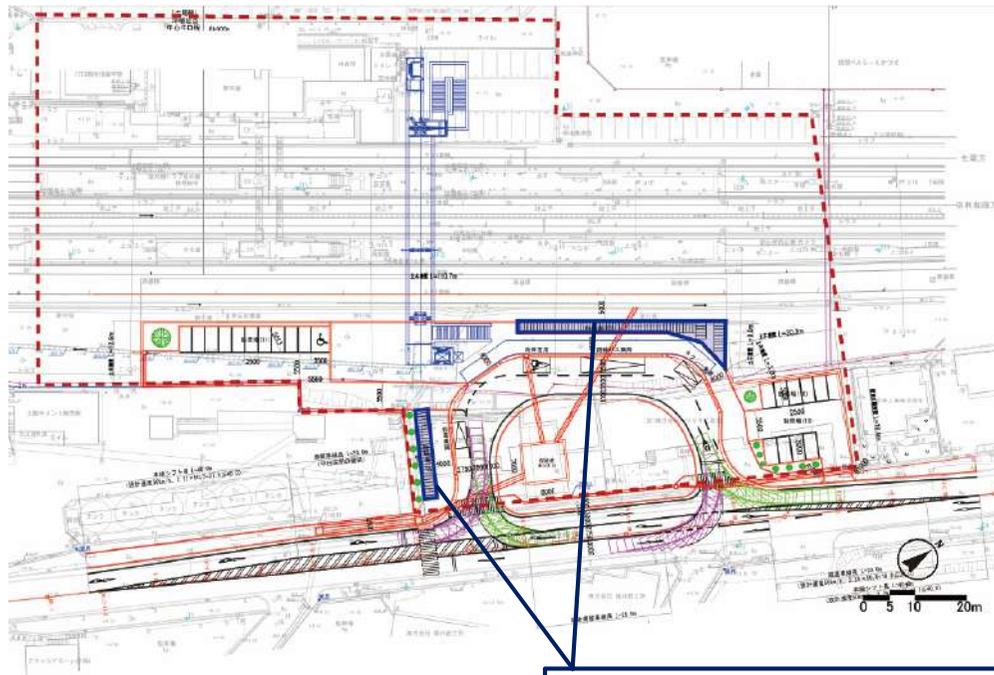
地域生活基盤施設

単位:百万円

交付対象施設	施設名 (路線名等)	事業主体	概要 (面積、幅員、 延長、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳			備考
					設計費	用地費	施設整備費 うち購入費	
緑地								
広場								
駐車場								
自転車駐車場	東口駐輪場上屋 整備	津幡町	A=200m ² 収容台数:100台	75.8	7.6		68.2	詳細設計未了
荷物共同集配施設								
公開空地								
情報板								
地域防災施設	施設種別:							
人工地盤								
合計	—	—	—	75.8	7.6		68.2	

地域生活基盤施設

東口駐輪場上屋整備



東口駐輪場上屋整備
 $2.0\text{m}^2/\text{台} \times 100\text{台} = 200\text{m}^2$



都市再生整備計画の区域

■必要規模(台数)について

東側の鉄道利用者数442人、駅前広場利用者数663人
(交通需要ハンドブックより、駅前広場利用者数は鉄道利用者数の1.5倍)、自転車のモード分担率30.6%より、必要台数は約100台。

$$663 \times 0.306 \div 2 = 101 \approx 100$$



整備イメージ

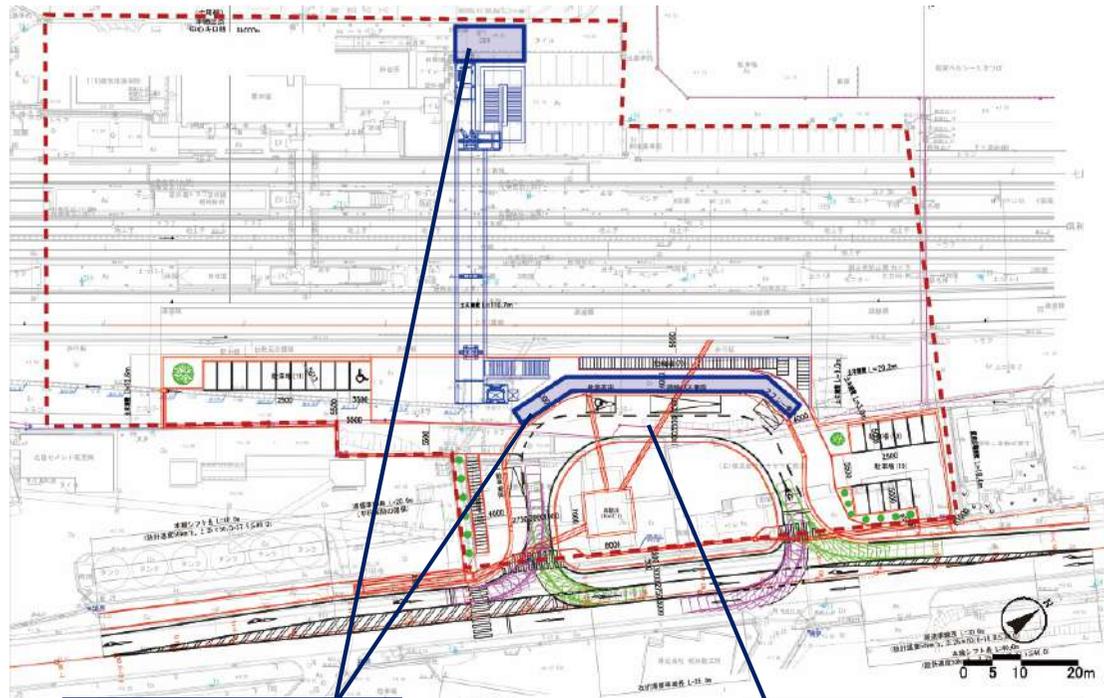
高質空間形成施設

単位:百万円

交付対象施設	施設名	事業主体	概要 (箇所数、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳			備考
					設計費	用地費	施設整備費	
緑化施設等(植栽・緑化施設、せせらぎ・カスケード、カラー舗装・石畳、照明施設、給電・給排水施設、ストリートファニチャー・モニュメント、土塁、堀跡等)	駅広場内施設 (シェルター、照明)	津幡町	シェルター:330㎡ 照明施設:1式	253.0	25.3		227.7	シェルター 約330㎡ 詳細設計未了
電線類地下埋設施設								
電柱電線類移設								
地域冷暖房施設								
歩行支援施設、障害者誘導施設等	東西自由通路内EV	津幡町	2基	87.9			87.9	詳細設計未了 (東西自由通路設計費に含む)
	東口トイレ整備	津幡町	1箇所	90.0	3.6		86.4	詳細設計未了
	既存西口トイレバリアフリー整備	津幡町	1箇所	86.7	3.5		83.2	詳細設計未了
情報化基盤施設								
合計	—	—	—	517.6	32.4		485.2	

高質空間形成施設

駅広場内施設



シェルター 330m²

照明施設 1式



都市再生整備計画の区域

■ 整備内容について

- ・シェルター
バスやタクシーを乗り継ぐ駅利用者の利便性向上のための上屋を整備
- ・照明施設
駅広場の防犯性を高めるため照明施設を整備



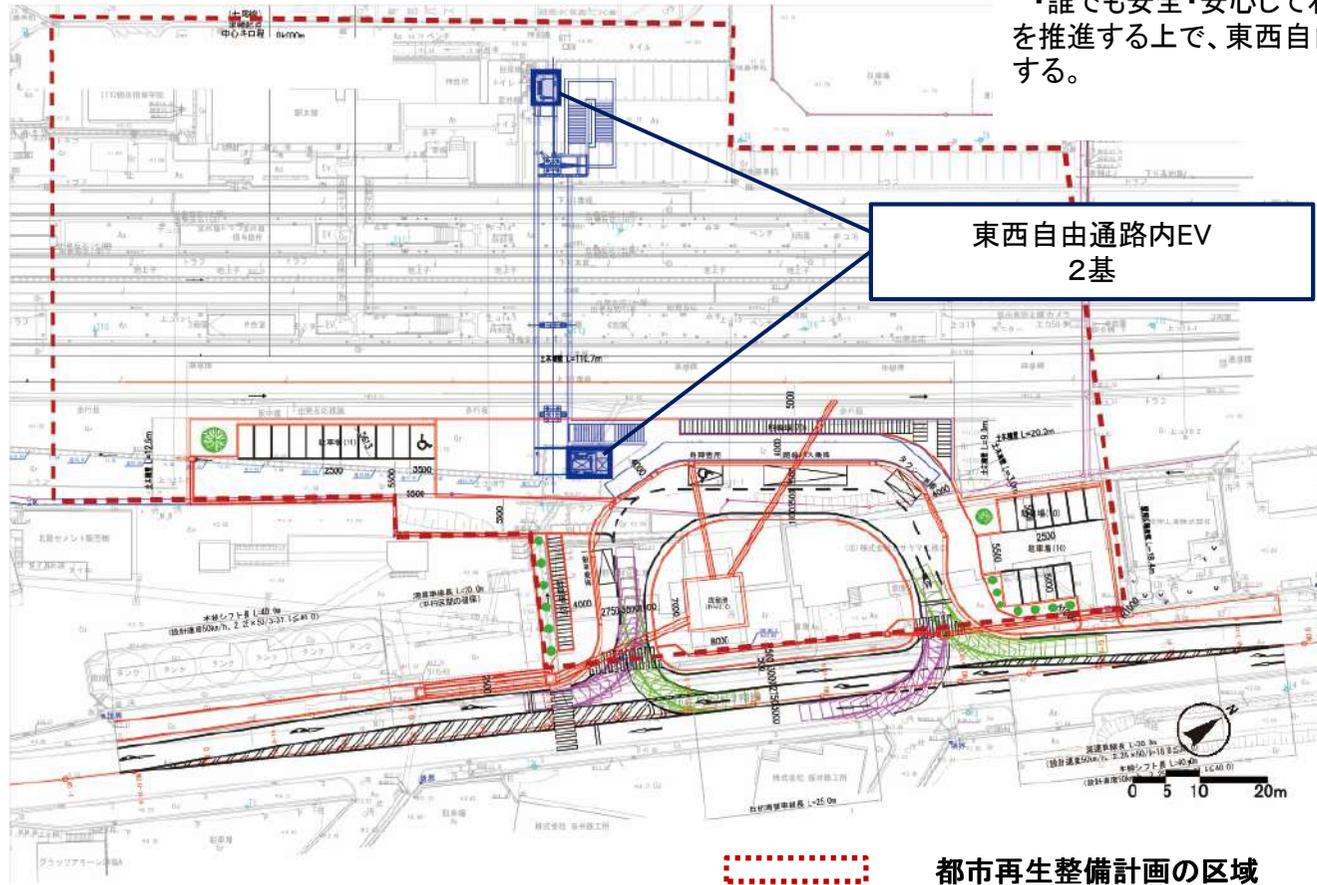
シェルター及び照明施設イメージ

高質空間形成施設

東西自由通路内EV

■配置について

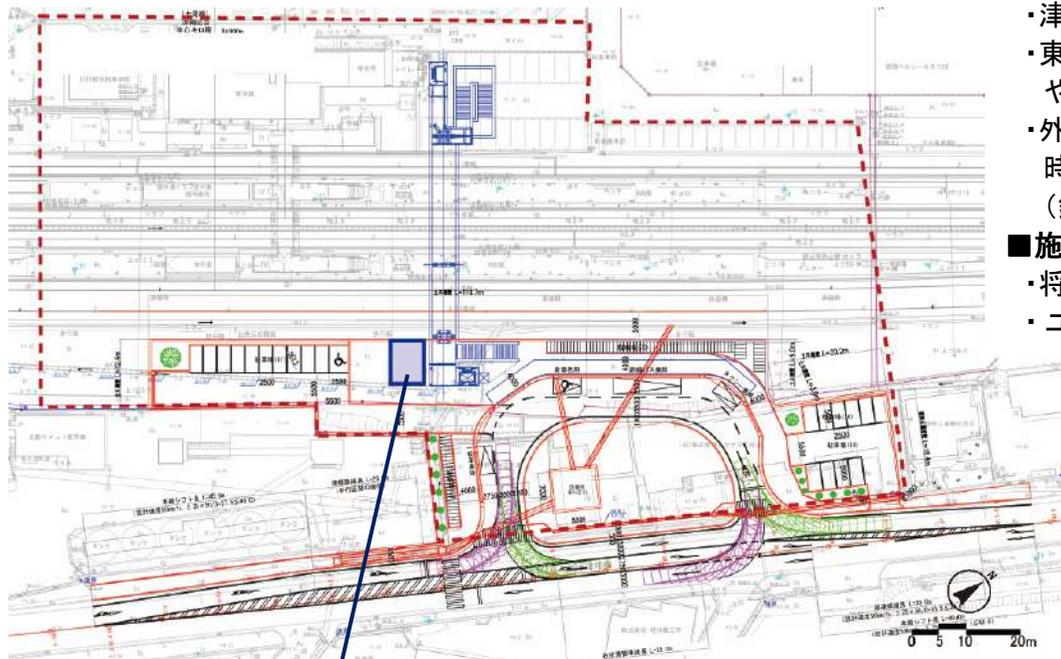
・誰でも安全・安心して利用できるよう駅周辺のバリアフリー化を推進する上で、東西自由通路整備に伴いエレベーターを設置する。



EVイメージ

高質空間形成施設

東口トイレ整備



東口トイレ整備
1箇所



都市再生整備計画の区域

■配置について

- ・津幡駅には、西口にトイレがあり、東西に1箇所ずつ確保する。
- ・東口広場を整備するにあたり、東西自由通路からアクセスしやすい場所にトイレを設置。
- ・外部からの自由な出入りは可能であり、夜間の防犯のため、時間制限を前提としている。
(鉄道運行時間、店舗等の営業時間を考慮)

■施設規模等について

- ・将来の駅乗降客数に対応した施設規模にする。
- ・ユニバーサルデザインに対応する施設とする。

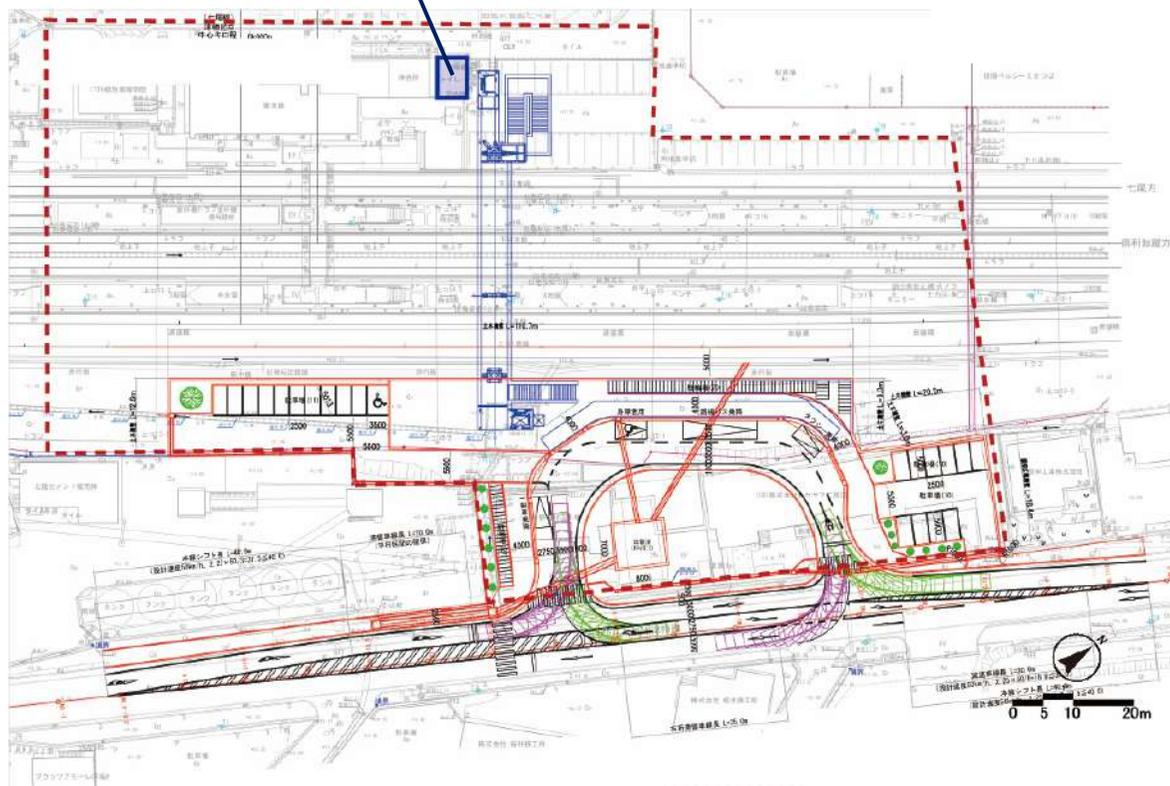


トイレイメージ

高質空間形成施設

既存西口トイレバリアフリー整備

既存西口トイレバリアフリー整備
1箇所



都市再生整備計画の区域

■整備内容について

- ・津幡駅には、西口にトイレがあり、バリアフリー対応となっていない。
- ・駅周辺のバリアフリー化を推進する上で東口トイレ整備に併せて、西口もユニバーサルデザインに配慮した施設へ改修する。



西口トイレの現状

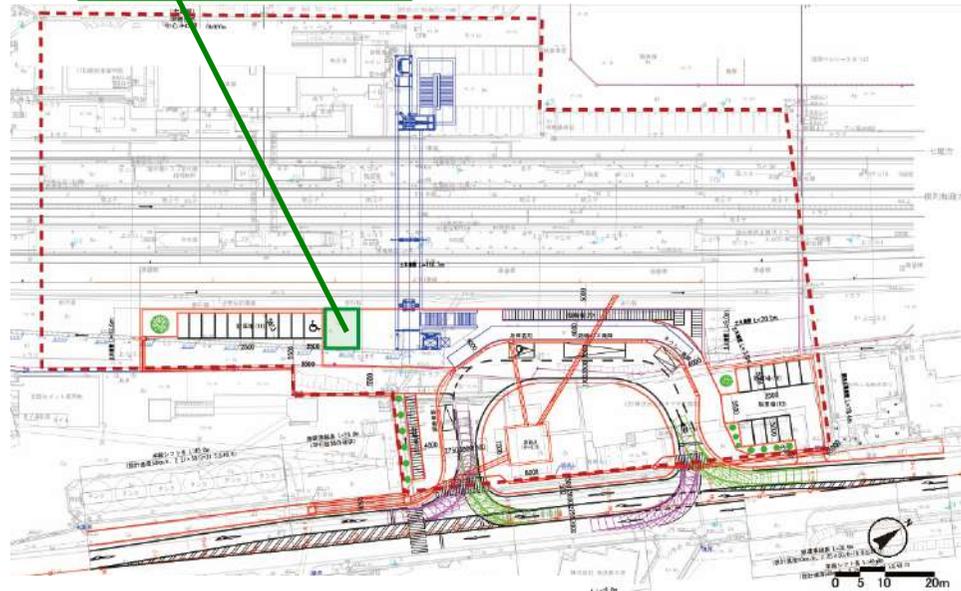


バリアフリーに対応したトイレイメージ

地域創造支援事業

地域交流促進事業

地域交流促進事業



都市再生整備計画の区域

【活用イメージ】



駅前広場との連携イメージ(枚方市樟葉駅)



学生利用イメージ(岡山県備中高梁駅)



案内・物販イメージ(岡山県備中高梁駅)

■整備内容について

東口駅前広場の整備に伴い、町の玄関口に相応しい快適で魅力的な空間づくりを推進するため、休憩や観光案内、産直マルシェ等に活用できる地域交流コーナーを整備する。

【整備イメージ】



施設イメージ

事業活用調査

事業効果分析等



■調査内容について

目標や指標について、交付期間及び交付期間の最終年度中にその達成状況等を検証し、要因分析を行う。

事業年度 (事業費)	業務内容
R4 (0.91百万)	当該年度に実施する諸事業の円滑な推進及び、翌年度以降に予定している事業との調整を図るための計画管理に係る支援やまちづくり活動の支援を行う。
R5～R6 (1百万円)	主に、都市再生整備計画の内容変更や事業調整に伴う検討及び、資料作成、委員会等の開催に伴う資料作成、とりまとめ、ニュースレター作成などを行う。
R7 (3百万円)	計画管理及びまちづくり活動の支援に加えて、翌年度に実施する事後評価に向けて、事業の実施状況を整理し、まちづくり事業の効果検証ならびに各種基礎資料(都市再生整備計画の変更経緯及び指標への影響の分析、事後評価方法書の作成、目標達成状況の確認、実施過程の評価、まちづくり課題の整理など)の作成を行う。
R8 (4百万円)	計画管理及びまちづくり活動の支援に加えて、事後評価に係る事業実施状況の整理、目標達成状況に係る検証と評価、効果発現状況を確認するための指標値の観測調査ならびに要因の分析、フォローアップ計画の作成、今後のまちづくり方策の検討などを行う。



都市再生整備計画の区域